

第3回

ゲノム編集セミナー

平成30年

2月15日 木 16:00～17:30 質疑応答含む

最先端医療イノベーションセンター棟1階 マルチメディアホール



座長

大阪大学大学院医学系研究科附属共同研ゲノム編集センター



16:00～16:45

真下知士 准教授

『生体内ゲノム編集HITI法を用いた
ゲノム編集治療法の開発』

大阪大学高等共創研究院

鈴木 啓一郎 教授

近年、CRISPR/Cas9を始めとする様々な人工DNAヌクレアーゼの登場により、ゲノムの標的遺伝子を操作する『ゲノム編集』技術が急速に進歩し、多種多様な細胞・生物種のゲノム配列を選択的に改変することが可能となった。しかしながら、多くの細胞が分裂を止めた非分裂細胞からなる生体内では、これまで有効なゲノム編集法は報告されていなかった。本セミナーでは、新たに開発した標的部位特異的な遺伝子ノックイン技術HITI (Homology-Independent Targeted Integration) 法について紹介する。

HITI法を用いることによって、従来の相同組換え法では不可能であった生きたままのマウスの脳や筋肉を含む様々な組織・器官で標的配列を自由に組換えることに成功し、さらに、網膜色素変性症モデルラットの視覚障害に治療効果が見られた。

以上の結果より、生体内ゲノム編集技術HITIを応用することで、病因遺伝子変異を根本から修復する新しいゲノム編集治療法の開発が期待される。



16:45～16:55

『阪大全学向け新サービス

ゲノム編集サポート事業の紹介』

大阪大学大学院医学系研究科附属共同研ゲノム編集センター



16:55～17:15

寺尾 由里 技術職員

『CRISPR関連製品の紹介』

Thermo Fisher Scientific

中村 銀士 氏

◆問い合わせ先◆

申込不要です。ぜひご参加ください。

附属共同研 ゲノム編集センター (担当:吉見 内線:3695・寺尾 内線:3890)

E-mail: gerdstaff@ctrlab.med.osaka-u.ac.jp



GERDC